

## つつじ色の新校舎でも保護者や地域と協働して咲かせる学びの花

校長 小山 進治

## つつじ燃ゆ 土から色を 吹き上げて (上野章子)

「春を知らせる二番手の花」と言われるツツジが、本校の正門周辺を所狭しと鮮やかに埋め尽くしています。「ツツジ」の名前の由来は、次々と花が咲く「つづき咲き」からきているそうです。あるいはかたちをいう「筒咲き」が転訛したものであると言われています。冒頭で紹介した俳句のようにこの時季のツツジは、まるで地面から色を吹き上げているかの生命力を見るものを感じさせます。爛漫と咲き続けるツツジには、本校の教育活動を支える保護者や地域の強い思いと重なる部分があると私は考えています。

令和8年度の教育活動もようやく1か月が過ぎました。経営組織や年間計画から日課表まで、持続可能なつつじらしさを願った新しいビジョンがスタートし、少しずつ軌道にのってきました。特に日課表が変わり登校時間が少し遅くなりましたが、保護者の皆様のご協力のおかげで子どもたちも落ち着いて行動ができています。新しい試みに取り組み、それを浸透させるには、様々な立場の方の協力が必要です。大きな混乱なく、教職員が子どもの学びの保障に努めることができているのは、やはり保護者や地域の皆様のご理解があつてのことです。本当にありがとうございます。4月23日(木)に行った授業参観と学年懇談会には、たいへん多くの保護者の皆様にご参観いただきました。どの学級でも子どもたちと新しい担任がよい緊張感をもちながらも、笑顔あふれる授業を展開していました。学年懇談会も含め保護者の皆様が学校に関心をもち、担任の思いや子どもたちとのやりとりを共有することこそ、子どもが安心して学校で学ぶことができる基盤となります。4月15日(水)には今年度のPTA活動も本格的にスタートしました。学校にとって最大のパートナーであるPTAが、本部役員を中心にPTAだからこそできる活動を活性化させ、本校の子どもたちの学びがさらに豊かになるように日々、ご尽力いただいています。さらに学校・地域コーディネーターを中心としたサポーターの皆様には、子どもが安心して楽しく過ごすことができる教育環境の充実のために直接的にも間接的にもご支援をいただいています。

新しい校舎の色は白とつつじ色を基調にした外観になりました。今の校舎でも新しい校舎でも、子どもたちの学びの花を次々と咲かせるために、保護者や地域の温かな思いに支えられながら、今月も教職員一丸となって学校経営に真摯に取り組んでいきます。

